

タウンガイド

・似島は市内ですからすべて082局番です。
・詳細につきましては直接お問い合わせ下さい。
※下記の料金等は令和5年2月現在のものです。

☞ 本稿の番号はガイドマップの地図と連携。

① 「ウエルカム 似島」



似島棧橋を上がってすぐ右に似島観光案内所「ウエルカム似島」があります。

ここでは似島発祥のバームクーヘン手作り体験や似島限定のバームクーヘン販売、レンタサイクル、レンタル釣具等を提供しています。2023年にリニューアルし、カキフライや焙煎コーヒー、ビールなどの軽飲食提供、季節によっては似島名産の牡蠣や柑橘なども購入することもできます。また、カヤック無人島ツアーやBBQ場の貸出の受付移住相談の窓口も行っております。

ウエルカム似島 050-5899-6267

② 「グランピングリゾート似島」



令和4年8月、似島の長浜地区に「グランピングリゾート似島」が誕生しました。当施設では貸切サウナやドラム缶風呂、望遠鏡による天体観測やアイスクリーム作り、薪割りや海釣り、肝試しなど、様々な体験をする事が出来ます！また、テントとログハウスの2タイプの宿泊施設をご用意しており、どちらも冷暖房完備でガウンやタオル、アメニティなど細かな備品も充実しています。手ぶらで快適なグランピングを体験いただけます！豊かな自然の中で、日中は充実したアクティビティで思いっきり楽しみ、夜は満点の星空を眺めながらゆったりとした時間を過ごしてください。ここしか出来ない体験を準備してお待ちしています。(価格例) テント宿泊 1名様 素泊まり4400円～ ※4名様利用時 食事付9900円～ HP「グランピングリゾート似島」で検索して下さい。

③ 瀬戸内「高見亭」

1泊2食付、9,000円より。小人(3～12才)7,000円。食事のみ5,000円より(4名様より40名様まで)。「鯛、ヒラメの姿造り」をはじめとした瀬戸内料理が自慢。カラオケ設備のある大宴会場に展望岩風呂、身障者用の設備も整っており、気楽な昼食会や忘年会等の利用が多く、女将の飛入り芸が楽しい宿。 [要予約]TEL 259-2408

⑤ 慰霊碑



似島は日清戦争から太平洋戦争終結まで「軍の島」でした。そして、広島に原爆が投下された直後から似島の検疫所には約1万人の被爆者が運び込まれたといわれています。しかし多くの方が介護の甲斐もなく亡くなり、火葬または土葬され、中学校東よりの南風泊一帯に無縁仏(千人塚)となっていました。昭和22年この辺りから約1,400柱余の遺骨が発掘され供養塔が建てられました。昭和30年にはこの供養塔の遺骨は平和祈念公園の供養塔に合祀されましたが、のちの昭和46年には中学校グラウンドから仮埋葬された517柱の遺骨が発掘されました。この慰霊碑はこれら原爆犠牲者のご冥福を祈って昭和47年に建てられたもので、今もお来島者が訪れ両手を合わす人が絶えません。

⑥ 似島歴史資料館



「似島歴史ボランティアガイドの会」が中心となり「似島歴史資料館」を「慰霊の広場」に建設。資料館には似島と戦争との関わり、とりわけ原爆投下時の当時の状況やその後の遺骨発掘、その際に発掘された遺品等を展示し、来訪者の方々に原爆被害を含む似島の歴史を学んでいただき平和の問題に意識を深めていただくものです。参観は事前予約です(宮崎)TEL 259-2120

⑦ 似島臨海少年自然の家

再整備に伴う休館のお知らせ

再整備の工事は令和5年4月1日から1年程度かかる予定です。

リニューアルオープンは 令和6年度の予定

新生活棟やコテージの新設、新生活棟の改修、炊飯場の改築など、似島臨海少年自然の家の再整備を予定しています。工事の進捗状況により開館時期が変更になることもあります。

自然の家 [お問い合わせ] TEL 259-2766

安芸小富士山(あきのこふじ)



瀬戸内海に浮かぶ西の「富士山」として名高い「安芸小富士」(278m)は、広島を代表する山の一つです。広島市側から見れば、美しい瀬戸の海をひときわ美しく見せ、その山頂に立てば、百万都市広島の大パノラマが眼前に広がります。案内板も設置され分かり易くなっています。山頂まで歩いて平均45分、似島を楽しむハイライトシーンをお楽しみ下さい。

下高山(しもたかやま)



安芸小富士の眺望に匹敵する下高山(203m)登山道は簡易整備をしており、登り易さや頂上の小枝の少なさも手伝って人気上昇中。似島棧橋からの登頂時間は約45分～1時間です。

④ 山田荘

似島で唯一海にせり出す貸し荘「山田荘」は、満潮になればテラスから釣りができるほか、テラスでバーベキューが楽しめるよう道具も用意してあります。収容人数は約40人、予約すれば料理もOK。 [要予約](山田商店)TEL 259-2058

似島はバウムクーヘン発祥の地

現在の少年自然の家は、戦時中『第二検疫所』があった場所で、第一次世界大戦時にはドイツ軍の俘虜(捕虜)収容所にもなりました。そのドイツ人捕虜の中にマイスターの資格をもつ菓子職人のカール・ユーハイムがいました。市内の物産陳列館(現在の原爆ドーム)でドイツ人捕虜による展示即売会が開かれた際、ユーハイムはバター味を控えたバウムクーヘンを販売しました。当時の人々はそのおいさに押すな押すなの大行列で、大変な人気を博しました。これが、日本でのバウムクーヘンの始まりです。自然の家では、バウムクーヘンづくりを体験することができます。 [要予約] TEL 259-2766

トイレ

- ・似島棧橋、学園前棧橋の各待合所のトイレ
- ・自然の家(臨海公園内)、慰霊広場のトイレ